

厚生労働科学研究 難治性疾患克服研究事業 びまん性肺疾患に関する調査研究班
難治性気道疾患分科会 「びまん性汎細気管支炎の全国調査 2014」 へのご協力をお願い

1. はじめに

びまん性汎細気管支炎は日本人に多い咳、痰、息切れを生じる慢性の気管支、肺の病気です。最近、この病気が減っているという報告もありますが、厚生労働科学研究 難治性疾患克服研究事業 びまん性肺疾患に関する調査研究班（本間栄班長） 難治性気道疾患分科会（長谷川好規 分科会長）では、びまん性汎細気管支炎の現状を把握して、より良い診断・治療や予防のために、全国でこの病気の実態調査を実施したいと考えております。

研究名：びまん性汎細気管支炎の全国調査 2014

調査集計施設：公益財団法人結核予防会結核研究所

責任者 職名：慶長直人 部長

研究方法：全国主要医療機関へのアンケート調査の一環として、平成26年1月より12月までの期間に、当施設を受診（外来通院のみ、入院を含む）した、びまん性汎細気管支炎またはその可能性がある方の診療記録から、病気に関係のある診療情報のみ（年齢、性別、基礎疾患、診断・治療関連情報、身体所見、血液検査所見、血液ガス分析、喀痰細菌学的検査所見、呼吸機能検査値、画像所見、病理所見）、担当の先生からの郵送により、調査集計施設にお送りいただき、そこで解析、検討致します。

この調査研究により、患者様に不利益が生じることがないように、個人情報の保護に十分留意して集計を進めますが、もしご自身の臨床疫学情報を調査に使用して欲しくない場合、揭示後1か月以内に主治医か、下記問い合わせ先にお申し出ください。その方のデータは今回の調査には使用されなくなります。

この調査研究はびまん性汎細気管支炎という病気をより深く理解するために役立ちますが、個人に還元できる成果がすぐに得られるかどうかは、まだわかりません。不利益が生じないように、当施設では、担当者が番号で置き換えてわからないように（匿名化）してから、臨床疫学情報を調査集計施設に送付して、プライバシーを守ることに細心の注意を払います。この調査研究は、厚生労働科学研究難治性疾患克服研究事業 びまん性肺疾患に関する調査研究班の研究の一環として行われます。特定の企業などとの利害関係はありません。

びまん性汎細気管支炎に係る臨床疫学情報のみを集めて研究に使わせていただきます。調査研究の成果は、学会や学術雑誌などに発表しますが、その場合もプライバシーは保護されます。

平成29年3月31日までを調査研究期間として予定しております。研究終了後に、びまん性汎細気管支炎について新たな調査を行いたい場合は、改めて倫理審査委員会による承認を受けてから、また同様に研究内容を揭示して、皆様に広くご承知いただき、研究を実施致します。

平成29年2月1日

当院研究責任者・実務責任者 内科（呼吸器）担当部長 中村 守男
連絡先電話番号 03-3451-8211